



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月28日

上場会社名 タツタ電線株式会社
 コード番号 5809 URL <http://www.tatsuta.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 博仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 柴田 徹也

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,365	0.3	693	61.4	703	54.9	517	61.6
2020年3月期第1四半期	13,405	8.1	429	64.6	454	63.3	320	67.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,015百万円 (599.8%) 2020年3月期第1四半期 145百万円 (86.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.38	
2020年3月期第1四半期	5.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	54,151	44,598	82.4	721.86
2020年3月期	54,970	44,139	80.3	714.43

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 44,598百万円 2020年3月期 44,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		9.00	18.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	7.3	1,850	9.7	1,850	10.5	1,300	9.0	21.04
通期	51,700	11.1	3,000	20.7	3,000	23.4	2,100	23.4	33.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	70,156,394 株	2020年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	8,374,000 株	2020年3月期	8,373,920 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	61,782,434 株	2020年3月期1Q	61,782,990 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 資本の財源及び資金の流動性に係る説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が急速に低下し、また、雇用情勢、設備投資、生産、輸出等の各面で弱い動きが続くなど、緊急事態宣言解除後の個人消費持ち直しの動き等は見えつつあるものの、総じて極めて厳しい状況で推移しました。世界経済も同感染症の世界的大流行に未だ収束の目処が得られない状況のもと、経済活動の段階的再開により一部下げ止まりの気配は見られるものの、極めて厳しい状況で推移しました。

資源価格については、原油価格は期初に一旦急落後、上昇しました。また、銅の国内建値は期初より上昇基調で推移しているものの、当第1四半期連結累計期間の銅国内建値平均価格は前年同期を下回る水準となりました。

この間において、インフラ向け電線の需要は弱含みで推移し、機器用電線分野においては新型コロナウイルス感染症影響により厳しい需要状況が続きました。また、機能性フィルムの主要用途である携帯端末も同感染症の影響を受け需要の低迷と高機能製品の立ち上がりの遅れが生じました。

こうした環境のもと、当社においては、インフラ向け電線では前年同期並みの販売量を維持したものの銅価格が前年同期を下回ったこと、機能性フィルムでは需要環境は厳しいものの低水準であった前年同期を上回る販売量を確保したこと等を主因に、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,365百万円（前年同期比0.3%減）と若干の減収、営業利益は693百万円（前年同期比61.4%増）、経常利益は703百万円（前年同期比54.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は517百万円（前年同期比61.6%増）と増益となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

インフラ向け電線は増販努力等によりおおむね前年同期並みの販売を確保（前年同期比1.7%増）したものの銅価格の低下があり、また機器用電線では新型コロナウイルス影響等による販売低迷が続いたことから売上高は8,338百万円（前年同期比6.2%減）となりました。営業利益は、販売構成の改善等もあり51百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムの需要は低迷しましたが、顧客において生産安定化のための在庫積み増しの動き等が発生し、米中貿易摩擦を主因に極めて低水準であった前年同期に比べ販売量は増加（前年同期比17.0%増）しました。この結果、売上高は4,644百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は846百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業は、新型コロナウイルス影響による需要減により、売上高は390百万円（前年同期比7.7%減）、営業損益は44百万円の損失（前年同期は4百万円の損失）となりました。

新型コロナウイルス感染症の経済への影響が不透明な状況の中、当社は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し従業員・社会の安全を確保するとともにお客様への供給責任を果たしてまいります。そのうえで、国内インフラ向け電線事業は引き続き高付加価値製品の増販、コスト削減に努めるとともに、機能性フィルム事業および機器用電線事業等の各事業においては顧客との連携強化と顧客ニーズに沿う製品・サービスの開発を図り、需要回復の機を的確にとらえ早期に販売量の回復を達成するよう努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ819百万円減少し、54,151百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ1,278百万円減少し、9,552百万円となりました。これは、未払法人税等および未払費用が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ459百万円増加し、44,598百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと、繰延ヘッジ損益が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ2.1ポイント上昇し、82.4%となっております。

(3) 資本の財源及び資金の流動性に係る説明

当社グループは、2025長期ビジョン達成に向け、今後も積極的な投資を継続していく予定であります。必要資金は、当面は自己資金により調達する予定であります。必要な場合には借入も実行いたします。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月13日の決算発表時に公表した予想からの変更はありません。なお、同業績予想につきましては、新型コロナウイルス問題による販売面での影響が本年度中は続くものと想定した前提に基づき策定したものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,462	1,282
受取手形及び売掛金	16,682	15,681
製品	2,416	2,570
仕掛品	4,609	5,321
原材料及び貯蔵品	897	781
短期貸付金	10,660	10,169
その他	339	588
貸倒引当金	△205	△8
流動資産合計	36,864	36,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,876	7,785
機械装置及び運搬具（純額）	2,562	2,536
工具、器具及び備品（純額）	371	361
土地	3,799	3,799
建設仮勘定	947	850
有形固定資産合計	15,556	15,334
無形固定資産		
ソフトウェア	143	134
ソフトウェア仮勘定	7	8
施設利用権	5	5
その他	8	7
無形固定資産合計	165	156
投資その他の資産		
投資有価証券	815	830
長期前払費用	23	22
繰延税金資産	1,433	1,202
その他	118	420
貸倒引当金	△7	△202
投資その他の資産合計	2,384	2,273
固定資産合計	18,106	17,764
資産合計	54,970	54,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,963	4,428
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払金	926	502
未払費用	1,493	1,005
未払法人税等	843	204
その他	721	503
流動負債合計	8,948	7,644
固定負債		
環境対策引当金	110	110
退職給付に係る負債	1,599	1,624
資産除去債務	62	62
繰延税金負債	0	1
その他	110	110
固定負債合計	1,883	1,908
負債合計	10,831	9,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	36,183	36,145
自己株式	△2,458	△2,458
株主資本合計	44,918	44,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142	151
繰延ヘッジ損益	△308	165
為替換算調整勘定	△57	△65
退職給付に係る調整累計額	△555	△533
その他の包括利益累計額合計	△779	△281
純資産合計	44,139	44,598
負債純資産合計	54,970	54,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,405	13,365
売上原価	10,648	10,208
売上総利益	2,757	3,157
販売費及び一般管理費	2,327	2,463
営業利益	429	693
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	11	10
為替差益	4	-
その他	12	11
営業外収益合計	29	23
営業外費用		
支払利息	3	1
為替差損	-	9
支払補償費	1	-
その他	0	2
営業外費用合計	5	13
経常利益	454	703
特別利益		
受取保険金	59	-
特別利益合計	59	-
税金等調整前四半期純利益	513	703
法人税、住民税及び事業税	139	178
法人税等調整額	53	7
法人税等合計	193	185
四半期純利益	320	517
親会社株主に帰属する四半期純利益	320	517

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	320	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	9
繰延ヘッジ損益	△174	474
為替換算調整勘定	6	△7
退職給付に係る調整額	4	21
その他の包括利益合計	△175	497
四半期包括利益	145	1,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145	1,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,885	4,103	12,989	415	13,405	—	13,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6	6	△6	—
計	8,885	4,103	12,989	422	13,412	△6	13,405
セグメント利益 又は損失(△)	△7	608	600	△4	596	△166	429

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、光部品事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△166百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,338	4,644	12,983	382	13,365	—	13,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	8	8	△8	—
計	8,338	4,644	12,983	390	13,373	△8	13,365
セグメント利益 又は損失(△)	51	846	897	△44	852	△159	693

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。なお、センサー&メディカル事業は、前第1四半期連結累計期間記載の機器システム製品事業、光部品事業を再編して表記したものです。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△159百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。